



府連通信

2024年12月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

本部第1回理事会開く 12月1日

第74回大会に向けて、運動の活性化と組織の拡大強化をはかるとともに、12月1日、第1回理事会がオンラインで開催されました。組織拡大強化や友好交流活動について討議されました。大阪から6名が参加、浅田美奈子さんが「大阪の帰国者支援活動について」恒岡正勝さんが「太極拳活動について」大阪府連女性部の活動を浅田美奈子さんがオンライン発言しました。

来年3月1日から6月15日までを「仲間づくり推進機関」として設定、前大会比10%増を目標に取り組みことになりました。理事会では6月の大会まで会員拡大に取り組むことになりました。国際紛争を平和的な話し合いで解決することを訴える国際世論を高めることが求められるなか、不再戦平和を柱とした日中友好運動は大きな役割を担っています。 **詳細は日中友好新聞に**

女性部 中国世界遺産を散歩しよう

11月17日の女性部学習会「ラブリー中国・世界遺産」第5回「泰山・曲阜の孔廟、孔林、孔府・黄山・廬山」では、11名が高田講師の映像とお話で学びつつ散歩しました。3名の感想。

***世界遺産のいくつかを春秋・戦国という時代背景と孔子の思想をあわせて見つけることができました。古代世界を俯瞰する重要な視点です。二つの廬山事件を対照させた整理と説明もわかりやすかったです。(Yさん)**

***中国の世界遺産の詳細な図面を使っての説明に感激しました。孔子に関わる歴史は百科検定には大変役立ちました。ありがとうございます。(浅田美奈子)**

お菓子箱は毎回高田先生自ら折り紙で作り、お菓子も用意していただいています。お菓子箱は色々種類があり参加者からは可愛いと評判です。(浅田美奈子)

堺支部総会&公開講座

長谷川テルの勇気に学ぶ

12月22日1時から堺市総合福祉会館5階大会議室で「堺支部総会&公開講座」を開催しました。また、中国外務省は日本総会&公開講座」を開催します。公開講座では「長谷川テルの勇気に学ぶ・女性たちは戦争をゆるさない」をテーマに、日中大阪府連会長山本恒人さんにお話していただきます。

4月「望郷の星」で長谷川テル役の栗原小巻氏が、日中文化場で行います。(上村康志)

「デジタル社会における『国家と社会』を考える」講演会

10月14日、梶谷懐神戸大学大学院教授を講師に「デジタル社会における『国家と社会』を考える」講演会を国労会館大会議室で開催しました。

コロナ禍でできなかった府民対象の日中問題講演会は4年半ぶりの開催でした。当日は、15日の総選挙公示の前日、公示直前最後の休日が重なり参加は32名でした。

梶谷先生は、2019年に出版された「幸福な監視国家」の共著者で、この著書は「習近平体制下で、人々ができる」講演会を国労会館大会議室で開催しました。

コナ禍でできなかった府民対象の日中問題講演会は4年半ぶりの開催でした。当日は、15日の総選挙公示の前日、公示直前最後の休日が重なり参加は32名でした。

梶谷先生は、2019年に出版された「幸福な監視国家」の共著者で、この著書は「習近平体制下で、人々ができる」講演会を国労会館大会議室で開催しました。



新春「うたえ喫茶 in ぽつとすてんしょん」

新しい年の出発！歌声で日中友好と平和の「福」を迎えましょう。木のぬくもりのある素敵なホールで歌いましょう。

1月19日(日)2時から4時
 地下鉄谷6 ⑥番出口東へ50m
 会費2000円 定員30名
 大阪府連女性部主催

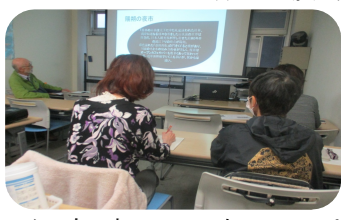
大阪西支部 日中カレンダー学習会

11月4日、西支部主催「日中カレンダー学習会」に参加させていただきました。中国百科検定を12月に控えている私には必見です、講師のIさんは、中国を実際に訪れた経験を交えて話してください、その生の声や体験談がとても印象に残りました。

例えば訪れた場所が本当に何も無いような場所なのに隣国で領有権問題が起こるのが不思議だと話されていることや、歴史的背景がどのようにに現地の人々の生活や考え方に影響を与えているのかを聞いて、具体的なイメージが湧き、記憶に残りやすくなりました。

また、試験の内容に関するアドバイスを頂けた事が非常に有益でした。講師のIさんが紹介してくださった現地の人々の生活や、世界遺産の景色が素敵で、是非私も中国へ行ってみたい気持ちになりました。

これからの中国百科検定へ向けての勉強に目標が出来るそうです。やはり「百聞は一見にしかず」です。カレンダーを元に限られた時間での学習会でしたが、楽しいお話を色々ありがとうございました。(A子)



全大阪きりえ美術展 45点の作品

前田尋きり絵展

47回目を迎えた全大阪きりえ美術展、今年は地下鉄阿波座の府立江之子島芸術創造センターで開催しました。1階の広い会場に40人が45点の作品を展示、400人以上の来場者で賑わいました。

6つのグループ会員と個人の創作者がこの1年の成果を並べました。外国風景や日本の美しい景色を切り取ったもの、平和を祈る詩歌、花や子供たちの元気な様子を描いたものなど巧みな技法が冴える多彩なテーマで充実していました。

24年3月から6月まで、山梨県切り絵の森美術館で開いた前田尋のきり絵展、3ヶ月間で1400人の来場者がありました。大阪周辺の見に行けなかったという皆さんの希望に添えて、新春1月10日から14日まで、南海電鉄北野田駅そばの東文化会館ギャラリーで、ほぼ全ての作品に新作を加えて100点の展覧会を開きます。50年間のきり絵創作の集大成となるでしょうか。小品から200号の大作まで並びます。写真は5月の長居公園内でのきりえ展。



アメリカ大統領・トランプを選出 対中融和政策を根本的に転換

トランプ共和党が大統領選挙と上下院議会選挙で大勝。最大の焦点は対中融政策の行方でしょう。トランプ第1期政権は、70年代にニクソン大統領が始めて半世紀間続いた対中融政策を「根本的に転換」し、「中国との全面的な対決」に踏み切りました。トランプを退けたバイデン政権は「インド太平洋戦略」を掲げて、トランプに輪をかけて中国排除と包囲を、日本など同盟国に呼びかけて推進しました。



「世界一への執着」異なるリーダーによる同一の政策推進、これはアメリカの世界覇権が中国の発展によって崩れかけている現状に対して、米・

産軍複合体（総資本とも言える）が揺るがぬ決意を固めたという事です。米大統領選挙討論会でハリス民主党候補が「中国との競争でアメリカが勝つ」と公約に掲げた際、トランプは「バイデンとハリスは私が拓いた道を後追いしている」と一笑に付しました。

漢詩講座 後期③

陶淵明魅力再発見

11月24日大阪国労会館で14名の参加で、漢詩漢文を楽しむ講座「陶淵明 魅力再発見」シリーズ後期の第3回が開催され、①子の儼に与うる疏 ②自ら祭る分 ③陶淵明伝を講義されました。

24南京集会

12月1日午後国労会館で200名近くが参加して、ジョンラーベは訴える、映画「南京の地獄」が上映されました。翻訳・解説は松岡環さん。



濟州島で4・3事件を知る

戦争を始めた日本は

10月20日からの濟州島の訪問は4・3事件という非常に血なまぐさい歴史をたどるものでした。1947年、米ソ冷戦スタートのアメリカが敵視する左翼勢力への大量殺戮、直接手を汚したのは韓国権力です。韓国歴史の汚点ですが、直視する韓国社会の良心に日本は学ぶべきです。



濟州島という日本の四国より小さい島の至る所に、自国の負の歴史を直視した無数の記念館があり、日本では考えられないと思います。真珠湾攻撃があった12月8日、NHKはこの2年は全く報道がありませんでした。日本が80年前まで戦争をしていたことを知っている人でも、真珠湾攻撃を知らなかった。安倍政権時代から公然たる憲法破りが野放しの日本との差の縮図だと感じました。(中河内支部 竹内康)

唐代伝奇の世界へようこそ 第4回 任氏伝 (じんしでん)

「任氏伝」は人間と異類が愛し合う「異類婚」の物語です。刺史(しし)・地方官)の韋崑(いざん)の従妹は、鄭六(ていりく)という若者の妻でした。鄭六は貧乏で自分の家がないため、妻の一族に身を寄せています。鄭六はある時、任氏と言う女性の美しさに誘われて一夜を共にします。村人から、任氏は狐であることが知られますが、あきらめきれずに妻にします。

一年余り後、鄭六は別の地に赴任することになります。そのころ鄭六は妻を迎えたばかりで、夜は家で寝るため、毎夜任氏と一緒に過ごせません。任氏を任地に連れていけば楽しめると思ひ、断る任氏を説き伏せて出発します。ところが道中で猟犬に出会い、任氏は噛み殺されます。「任氏伝」から婚姻関係の複雑さが分かります。また、長安の色町の様子が分かります。さ



らに男は貧しくても、親戚に金持ちがいれば、その人の世話を受けて生活することも分かります。唐代の貴族社会では、婚姻は家と家の関係です。物語の中に鄭六の妻がたくさん出てきますが、本妻は任地に赴任することになる前に迎えた妻のようです。官を得た時点でつり合いのとれた家と姻戚関係を結ぶのです。

民国時代になってもこれは続きます。魯迅の妻として許広平(きょこうへい)が知られています。魯迅は教鞭をとっていた厦門大学の教え子である許広平を妻にしました。しかし魯迅は故郷の浙江省紹興で、母の決めた女性、朱安(しゅあん)と結婚してしまいました。魯迅は朱安に家のことをすべて押しつけて、許広平との家庭を築いたのです。(高田 佳音子)

太極拳東海ブロック合宿参加記 柳川 晋

11月22日～24日、湯の山温泉希望荘で50名が参加、恒岡正勝講師は「太極拳に役立つ体の使い方」つまり基本功(実は秘伝)を解説。一日目は最近の合宿の復習で1肩甲骨の位置確認と基本操法①開合②上下③回旋④立甲。2体幹の基本操法①屈曲伸展②側屈③回旋。続いて動きの三要素①放鬆[ファンソン]②中正③連動です。



放鬆の爲にa擦法b揺法。続いて四つんばいになって肩甲骨の可動域アップ、獣の走り。二日目は一日目の復習、弛めた身体で連動を実感。クローゼットの折戸の動き、そして双龍遊水からその応用、どれも本邦初公開でした。

基本功は①老若男女[ろうにやくなんによ]誰でもできる動作を、②繰り返し根気よく③動く身体になれば④驚くほど凄い動きになる、だから何処でも教えたい。参加者の眼の色が変わってきました。

先生のご指導を参加者に伝えて下さった指導員の方々、快適な環境と食事と送迎まで手配して下さいました。三重支部の皆様へ感謝です。

太極拳初段審査(実技と筆記)
11月9日7名の受験で行われました。実技、筆記共に結果は4名の方が合格、不合格者は3名、受験年齢は60代から80代でした。80代の合格者や、筆記テストで100点の方がいたことは特筆したいと思います。

太極拳初けいこ
日中友好と平和の年に。
1月12日(日)9時から
大阪国労会館
陳式太極拳初けいこ
1月19日(日)9時から
北スポーツ